

年頭のごあいさつ

本庄市長 吉田信解



新年明けましておめでとう
ございます。平成23年の新春
をご健勝にてお迎えのことと
心からお慶びを申し上げます。
また、市民の皆様には、日
頃から市政に対する深いご理
解と温かいご協力をいただき、
厚くお礼申し上げます。

昨年は、長引く不況による
雇用情勢の悪化や、揺れる国
際情勢など不安の多い年であ
りましたが、そうした中でも
本市では、明るい話題がたく
さんありました。

昨年末、ある新聞社が企画
した「首長が選ぶわが街の5
大ニュース」において、私は
次のニュースを選ばせていた
できました。まず5位は「本
庄拠点地域映画『JAZZ 爺
MEN』の製作スタート」、4
位は「日本神社の必勝ダルマ
をサッカー日本代表へ贈呈し
たことが全国に報道される」、
3位は「本庄第一高校野球部
2度目の甲子園出場」、2位は
「本庄市マスコット『はにぼ
ん』誕生」、そして1位は「本
庄早稲田の杜まちびらき」と
なりました。皆様、また、ご
家族の5大ニュースは何だっ
たでしょうか。

本市では、他にもたくさん
の明るいニュースがありまし

た。例えば、県内でも先駆的
な発達支援センターを併設し
た「いずみ保育所」の開設、
企業誘致の結果として赤城乳
業(株)の「本庄千本さくら5S
工場」が完成し操業開始、洪
水と地震ハザードマップの完
成、本庄地域定住自立圏形成
協定の締結、秋平小学校校庭
の芝生化、児玉中学校の新校
舎完成、新たに4件の文化財
の指定、そして市民による「武
州本庄つみっこ研究会」が立
ち上がったこと、合併5周年
記念事業「BS日本のうた公
開録画」などです。

もちろん、取り組んでいく
べき課題は山積しています。
今後、いかにして景気を回復
し、財政状況を改善し、明日
を担う人材を育て、増大する
社会保障のニーズに伝えてい
くか、国、地方を問わず、持
続可能な新しい時代を創るた
めのチャレンジが求められて
います。

厳しい内外情勢の中ではあ
りますが、本庄市は未来に向
け大きな可能性を持ったまち
であり、時代を創るためのチャ
レンジができるまちです。

5大ニュースで1位とさせ
ていただいた「本庄早稲田の
杜まちびらき」では、内外に

向け力強く本庄市の新しいま
ちづくりの発表を宣言するこ
とができました。また、2位
の「本庄市マスコット『はに
ぼん』誕生」は、本市から出
土した全国的にも非常に珍し
い大耳の「笑う盾持人物埴輪」
がモチーフになっているとお
り、愛らしい笑顔いっぱい
のキャラクターです。市民の皆
様に笑顔と幸せを運び、本市
の全国へのPRにもなるもの
です。

私は、市民一人ひとりが我
がまち本庄に魅力と誇りを持
ち、活力と笑顔にあふれる元
氣な本庄市となっていくこと
を確信しています。「あなた
が活かす、みんなで育む、安
全と安心のまち本庄」世のた
め、後のため」という本市
の将来像を目指し、今年も昨
年に増して皆様に本市の明
いニュースをご報告できる年
となりますよう、魂を込めて、
市行政も一丸となって頑張っ
てまいります。

どうぞ市民の皆様、より
一層のお力をいただきたくお
願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をご
祈念申し上げ、新年のごあい
さつとさせていただきます。



1市3町で連携し、地域の活性化を目指して

『本庄地域定住自立圏共生ビジョン』を策定

市では、昨年7月に美里町、神川町、上里町の3町と圏域全体の発展を目指すため『本庄地域定住自立圏形成協定』を締結しました。その後、1市3町や関係機関との協議を重ね、協定項目に関連する民間や地域の関係者による「共生ビジョン懇談会」の検討を経て、このたび『本庄地域定住自立圏共生ビジョン』を策定しました。

共生ビジョンは、協定に基づいて市町で連携して推進する具体的な取組などを記載するもので、5年を計画期間とし、毎年見直しを行います。ここでは、その概要を紹介します。

生活機能の強化

- 救急医療体制の充実
 - ・ 休日急患診療所運営支援
 - ・ 小児2次救急診療業務支援ほか
- 障害者福祉の充実
 - ・ 障害者地域生活支援事業
 - ・ 障害者就労支援センター事業ほか
- 農業振興
 - ・ 担い手育成支援事業
 - ・ 就農等情報の相互提供事業
- 観光振興
 - ・ 観光情報共有化事業
 - ・ 観光ルートの開発事業ほか
- 消費生活相談体制の充実
 - ・ 消費生活センター相互利用事業
 - ・ 消費者被害防止啓発事業



結びつきや

ネットワークの強化

- 公共交通ネットワークの構築
 - ・ 生活バス路線運行支援事業
 - ・ 公共交通ネットワーク構築調査事業ほか
- 道路ネットワークの構築
 - ・ 生活幹線道路等の整備事業
- (仮称) 寄居PA美里・深谷スマートーC整備事業
- (仮称) 上里SASAスマートーC整備事業ほか
- 地産地消の推進
 - ・ 地産地消推進事業
 - ・ 環境保全型農業推進事業

圏域マネジメント

能力の強化

- 人材の育成等
 - ・ 早稲田大学との連携事業
 - ・ 共通課題に即した職員研修ほか

※共生ビジョンは、企画課、図書館（本館・児玉分館）、市ホームページでご覧になれます。

★企画課 ☎ 25 1157

DV、許しません

「本庄市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」を策定

市では、配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）のない地域づくりを目指して、『本庄市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画（本庄市DV防止基本計画）』を策定しました。

この計画に基づき、平成24年度までの3年を計画期間として、「DV防止対策の整備」「相談体制の充実」「自立支援対策の充実」の3つの目標を掲げ、DV対策に取り組めます。

※計画は、人権推進課、図書館（本館・児玉分館）、市ホームページでご覧になれます。また後日、概要版を全戸配布します。

★人権推進課 ☎ 21 1159

～DVでお悩みの人へ～ DV相談窓口を開設しました

ひとりで悩まないで、あなたの気持ちを話してみませんか。自分の持っている力を信じて、問題解決への第一歩を踏み出してみませんか。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

★配偶者暴力相談支援センター（人権推進課内）☎ 25 1178